

Ref. 0

WEST☐ Generate Collection

L1: Entry 1 of 3

File: JPAB

Jan 11, 2000

PUB-NO: JP02000004827A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000004827 A

TITLE: EDIBLE CRAYON AND EDIBLE CRAYON SET

PUBN-DATE: January 11, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

INOUE, HIROMI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

INOUE HIROMI

APPL-NO: JP10177694

APPL-DATE: June 24, 1998

INT-CL (IPC): A23 L 1/27

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an edible crayon and an edible crayon set capable of easily drawing desired letter (s) and/or picture (s) on foods of relatively stable shape, namely less prone to get out of shape and relatively soft foods subject to getting out of shape as well.

SOLUTION: This edible crayon or edible crayon set is characteristic in that, a tube container 14 is held in a hand, and while the body is pushed with a finger, an edible colored material 11 is extruded via an issue port 14a or 14b; with the colored material 11 thus extruded, desired letter (s) and/or picture (s) are drawn e.g. on the surface of the side dish and/or cooked rice of a box lunch; because the edible colored material 11 is fluid, desired letter (s) and/or picture (s) can be easily drawn on foods of relatively stable shape, namely hard to get out of shape such as apples or pears and relatively soft foods subject to getting out of shape such as rice balls or omelets as well.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-4827

(P2000-4827A)

(43)公開日 平成12年1月11日(2000.1.11)

(51)Int.Cl.

識別記号

F I

テーマコード(参考)

A 2 3 L 1/27

A 2 3 L 1/27

4 B 0 1 8

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平10-177694

(22)出願日 平成10年6月24日(1998.6.24)

(71)出願人 598083739

井上 広美

福岡県北九州市小倉南区徳力5-7-1

アメニティ徳力1-206

(72)発明者 井上 広美

福岡県北九州市小倉南区徳力5-7-1

アメニティ徳力1-206

(74)代理人 100094215

弁理士 安倍 逸郎

Fターム(参考) 4B018 LE04 LE06 MA01 MA02 MA03

MA04 MA05 MA06 MA07 MA08

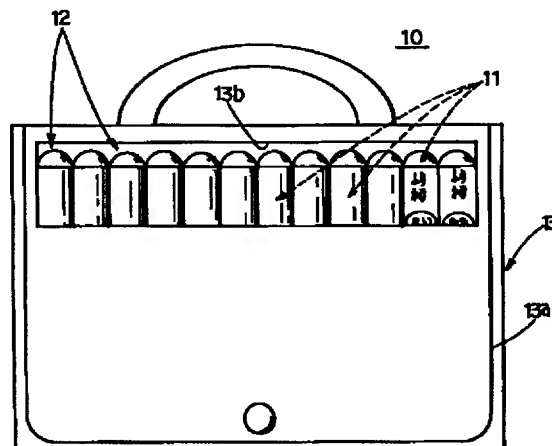
MC01 MC02 MC07

(54)【発明の名称】 食用クレヨンおよび食用クレヨンセット

(57)【要約】

【課題】 比較的形状が安定した崩れにくい食品だけでなく、比較的柔らかくて崩れやすい食品にも、所望の文字や絵などを簡単に描ける食用クレヨンおよび食用クレヨンセットを提供する。

【解決手段】 チューブ容器14を手で持ち、その胴部を指で押しながら、注出口14aまたは注出口14bから食用有色素材11を押し出す。この押し出された食用有色素材11により、例えば弁当のおかずやご飯など表面に、好きな文字や絵を描く。食用有色素材11が流動性を有しているので、例えばリングやナシなどの比較的形状が安定した崩れにくい食品だけでなく、例えばおにぎりやオムレツなどの比較的柔らかく崩れやすい食品の表面にも、所望の文字や絵などを簡単に描くことができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 開口可能な注出口が形成された可撓性を有するチューブ容器内に、流動性を有する食用色素材が充填された食用クレヨン。

【請求項2】 それぞれ開口可能な注出口が形成された可撓性を有する複数本のチューブ容器内に、互いに色相が異なる流動性を有する食用色素材を充填させて複数本の食用クレヨンを作製し、これらの食用クレヨンを1つの包装体に収納させた食用クレヨンセット。

【請求項3】 上記チューブ容器がペンタイプであり、該チューブ容器の両端部には、互いに口径が異なる上記注出口がそれぞれ形成され、しかも該各注出口は、キャップにより密閉自在となった請求項1の食用クレヨンまたは請求項2に記載の食用クレヨンセット。

【請求項4】 上記チューブ容器の胴部には、チューブ軸線方向に延びた比較的硬いチューブ芯部が一体的に形成されている請求項1～請求項3のうち、何れか1項に記載の食用クレヨンまたは食用クレヨンセット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は流動性を有する食用クレヨン、詳しくは比較的形状が安定した崩れにくい食品だけでなく、比較的柔らかくて崩れやすい食品の表面にも、所望の文字や絵（イラスト）などを自由に描ける流動性を有する食用クレヨンに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、食品に文字や絵を描くことができる食用クレヨンとして、例えば実公昭63-5492号公報に記載されたものなどが知られている。この従来技術に係る食用クレヨンは、粉乳、乳糖、アルファー澱粉および炭酸カルシウムなどから選ばれた粉状物およびバーム油並びに種々の色相の天然物色素または天然物からの注出色素を混練して成型、乾燥したものである。すなわち、この従来の食用クレヨンは、適度な硬さの固形物である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このような従来の食用クレヨンでは、その性状が適度な硬さを有した固形物であるので、食用クレヨンを使って、文字や絵が描ける食品は、例えば乾燥のり、クラッカー、ビスケット、ポテトチップス、せんべいまたはリングやナシなどの果物類といった比較的硬くて形状が安定した食品に限られていた。仮に、例えばおにぎり、オムレツ、ゼリーまたはプリンなど、比較的軟らかい食品の表面に描いた場合には、食用クレヨンをそれらの表面に押し付けた時点で、その形が崩れてしまうというおそれがあった。

【0004】また、従来の食用クレヨンの場合は、このように1色1本の単品あつかいで販売されるために、例えばスーパーなどでお客が購入するときの最小単価は比較的廉価となる。これに対して、商店側では、その商品

陳列に際して、通常、互いに色が異なる10数種の食用クレヨンを、5～10本ずつくらい揃えておく必要がある。これにより、例えばバラ売りの色鉛筆のように、小さな鉛筆立て状をした小ボックスを10数個くらい格子状に並べた大型の陳列ケースを使用することになる。そして、これらの小ボックスの中に、同じ色の食用クレヨンが所定本数ずつ収められる。この結果、1本売りの値段のわりには、店の売り上げを左右する陳列棚の貴重なスペースを大きくとってしまうという問題点があった。

【0005】一方、主婦などのお客の立場に立てば、通常、スーパーなどで、試しに1～3色くらいの食用クレヨンしか買ってこない。このため、例えば早朝、弁当をつくる際に、購入してきた乏しい色数の食用クレヨンでは、自分がイメージしていた文字や絵を十分に表現できないという問題点があった。また、食用クレヨンを冷蔵庫などの中に保管する際にも、このように各食用クレヨンがバラけているので、個々の食用クレヨンを紛失しやすいという問題点があった。

【0006】

20 【発明の目的】この発明は、比較的形状が安定した崩れにくい食品だけでなく、比較的柔らかくて崩れやすい食品にも、所望の文字や絵などを描くことができる食用クレヨンおよび食用クレヨンセットを提供することを、その目的としている。また、この発明は、店頭での陳列がしやすく、かつ陳列面積に対する売り上げ高が比較的大きくて流通性の向上が図れ、しかも複数の色相の食用クレヨンの中から好みの色を任意に選択して使用することができ、さらに個々の食用クレヨンを紛失しにくい食用クレヨンセットを提供することを、その目的としている。さらにまた、この発明は、使用中の一定の容器形状を確保することができ、これにより食用クレヨンの握り心地が良く、クレヨン全体の外観も良好になる食用クレヨンおよび食用クレヨンセットを提供することを、その目的としている。

【0007】

40 【課題を解決するための手段】請求項1に記載の発明は、開口可能な注出口が形成された可撓性を有するチューブ容器内に、流動性を有する食用色素材が充填された食用クレヨンである。チューブ容器の素材としては、通常、食品用の容器として用いられている毒性を有さない合成樹脂が採用できる。例えばポリエチレン、ポリプロピレン、スチレンなどである。また、紙製または紙と合成樹脂フィルムとのラミネートシート製の容器でもよい。ただし、いずれの場合も、可撓性を有しておかなければならない。また、チューブ容器の形状は限定されない。例えば、その断面形状が円形、楕円形、三角形以上の多角形でもよいし、これらとは異なる任意の形状でも

よい。また、その断面積の大きさや、チューブ長さも限定されない。ただし、文字や絵を描く際に、握りやすい大きさや長さが好ましい。さらに、チューブ容器の注出口の形成数、形成箇所、太さ、断面形状などは任意でよい。例えばチューブ容器の先端に、円形、楕円形または星形をした太さ1〜5mm程度の注出口を1つまたは2つ以上形成してもよい。

【0008】そして、食用有色素材の原料は、所定の色相と流動性を有して、食べられるものであれば限定されない。ここでいう原料の形態は、流動性の高い液体で

も、それより若干劣るペースト状のものでも、粉粒体でもよい。以下、色別の原料を例示する。

黒色：黒ごま、海苔

茶色：ソース

赤色：ケチャップ、梅

桃色：色紅、蛙

橙色（オレンジ色）：人参

黄色：黄ピーマン、のりたま（株式会社丸味屋製ふりかけ）

緑色：ホーレン草、ブロッコリー、ピーマン

白色：マヨネーズ

その他、例えばパン、ホットケーキ、菓子作り用として、チーズ、バター、マーガリン、各種のジャム、チョコレート、ココナツ、各種のクリーム、蜂蜜、練乳なども挙げられる。

【0009】請求項2の発明は、それぞれ開口可能な注出口が形成された可撓性を有する複数本のチューブ容器内に、互いに色相が異なる流動性を有する食用有色素材を充填させて複数本の食用クレヨンを作製し、これらの食用クレヨンを1つの包装体に収納させた食用クレヨンセットである。包装体としては、例えば各種の紙、合成樹脂、ラミネートシートからなる蓋付きの箱ケースや袋が挙げられる。この他、単なる包装紙、包装シートなどでもよい。食用クレヨンのセット色の設定は、例えば弁当などに文字や絵などを描くときに、使う頻度が高い色のものを多く入れ、その頻度が少ない色のものを1本ずつ入れる方が好ましい。ただし、このセット色の設定は限定されない。なお、この箱の中に、食材に適した色や文字、絵などを例示した小冊子を入れた方が便利である。なお、実際にお弁当などの上に食用クレヨンで文字や絵を描いた写真を搭載すれば、よりリアルでわかりやすい。

【0010】請求項3の発明は、上記チューブ容器がペンタイプであり、該チューブ容器の両端部には、互いに口径が異なる上記注出口がそれぞれ形成され、しかも該各注出口は、キャップにより密閉自在となった請求項1の食用クレヨンまたは請求項2に記載の食用クレヨンセットである。ペンタイプのチューブ容器の長さは、5〜20cmのものが好ましい。チューブ容器の両端に配設される注出口の数は、1つに限らずとも2つ以上でもよ

い。ただし、キャップにより密閉可能な形状でなければならない。また、各キャップによる注出口の密閉度は、開口された一方の注出口から食用有色素材を押し出し中、その容器の内圧により、他方の注出口を密閉していたキャップが外れない程度の密閉度がなければならない。もちろん、キャップの素材、形状、大きさなどは限定されない。例えばキャップの内側に注出口内に挿入される突起を形成してもよい。キャップの開閉により注出口を清掃することができ、食品の固着による注出口の目詰まりを防止することができる。

【0011】請求項4の発明は、上記チューブ容器の胴部には、チューブ軸線方向に延びた比較的硬いチューブ芯部が一体的に形成されている請求項1〜請求項3のうち、何れか1項に記載の食用クレヨンまたは食用クレヨンセットである。チューブ芯部の形成範囲は、可撓性を有する胴部のうち、チューブ容器内の食用有色素材を押し出す際に、この胴部の芯材となることができる範囲であれば限定されない。例えば、胴部を半分に縦割りした槌状のものでもよい。チューブ芯材の硬さは、この食用有色素材を押し出す際に、胴部の形状を保持できる硬さであれば限定されない。

【0012】

【作用】この発明によれば、チューブ容器を手で持ち、その胴部を指で押しながら、注出口から食用有色素材を押し出して、例えばお弁当やホームパーティーのおかずおよびご飯の表面に、好きな文字や絵を描く。食用有色素材が流動性を有しているため、例えばリングやナシなどの比較的形状が安定した崩れにくい食べ物だけでなく、例えばおにぎりやオムレツなどの比較的柔らかくて崩れやすい食べ物にも、所望の文字や絵などを描くことができる。

【0013】特に、請求項2に記載の食用クレヨンセットによれば、包装体の中から気に入った色や素材の食用クレヨンを取り出し、これを用いて好みの文字や絵を描く。このとき、色相が異なる食用有色素材入りの食用クレヨンを1つの包装体の中に収めているので、販売する商店の側から言えば比較的狭いスペースでも陳列することができ、しかも1商品の販売単価を高くすることができる。一方、購入者の側から言えば、多数色の食用クレヨンを1つの包装体としてまとめて買うことができる。これにより、例えば使用時に、包装体の中の食用クレヨンの中から好みの色のものを選んで使うことができ、これにより自分がイメージしていた文字や絵を十分に表現することができる。さらに、食用クレヨンを冷蔵庫などの中に保管する際にも、このように各食用クレヨンを1つの包装体の中に収めて保管することができるので、個々の食用クレヨンを紛失しにくい。

【0014】また、請求項3に記載の食用クレヨンまたは食用クレヨンセットによれば、チューブ容器がペンタイプであるために、食用クレヨンを握って文字や絵など

10

20

30

40

50

を描く際に手になじんで使いやすい。チューブ容器の片側のキャップを外して一方の注出口を開口し、その後、この注出口から食用有色素材を押し出しながら、好きな絵など描く。このとき、チューブ容器の他方の端部に形成された注出口は、他方の側のキャップにより密閉されているので、この押し出し圧により、他方の注出口から食用有色素材が漏れるおそれはない。しかも、各注出口は互いに口径が異なるので、異なる太さの線を簡単に引くことができる。

【0015】さらに、請求項4に記載の食用クレヨンまたは食用クレヨンセットによれば、チューブ容器の胴部に、チューブ軸線方向に延びた比較的硬いチューブ芯部が存在するので、この胴部を握って食用有色素材を押し出す際に、チューブ容器の形状が崩れにくい。その結果、使用中、チューブ容器は一定の容器形状が確保される。これにより、食用クレヨンの握り心地が良好となり、しかもクレヨン全体の外観も良好になる。なお、チューブ芯部に硬めではあるが、適度な弾性力を付与した場合には、仮にチューブ容器全体が変形した場合でも、このチューブ芯部の弾性力により、比較的短時間のうちに自動的に元のチューブ形状に復元することができる。

【0016】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施例を図面を参照して説明する。まず、第1実施例に係る食用クレヨンおよび食用クレヨンセットを説明する。図1は、この発明の第1実施例に係る食用クレヨンセットの正面図である。図2は、この発明の第1実施例に係る食用クレヨンの分解拡大正面図である。図3(a)は、注出口が2つの食用クレヨンの正面図である。図3(b)は、注出口が1つの食用クレヨンの正面図である。図4は、他の形態のプラスチックバッグの開蓋状態を示す正面図である。図5は、食材に適した色や文字、絵などが記載された小冊子の記載例を示す説明図である。図1において、10は食用クレヨンセットであり、この食用クレヨンセット10は、互いに色相が異なる流動性を有する食用有色素材11が個別に充填された8色、12本の食用クレヨン12を、1つのプラスチックバッグ(包装体)13に収納させたものである。

【0017】図2に示すように、各食用クレヨン12は、長さ10cm、直径1.5cmの透明な軟質ポリエチレン製のチューブ容器14を本体としている。このチューブ容器14は円筒形のペンタイプである。しかも、両端から1.5cmの部分に、互いに口径が異なる食用有色素材11の注出口14a、14bが形成されている。なお、一方の注出口14a(図2中の上側)は、直径1mmの断面円形である。また、他方の注出口14b(図2中の下側)は、長さ2mm、幅1mmの断面楕円形である。これらは、いずれも直径1mm以上の口径であるので、目詰まりしたとき、爪楊枝などでその中を清掃することができる。さらに、このチューブ容器14の

両端部の硬さは、胴部よりも軟らかめにしてある。その理由は、食用有色素材11の量が少なくなったとき、内容物を簡単に絞り出せるようにするためである。

【0018】また、このように第1実施例では、チューブ容器14を透明にしている。これにより、食用有色素材11の色相、素材品種および残量などを一目で把握することができる(図3(a)参照)。そして、各胴部の外周面には、色表示、材質表示および細書き、太書きなどの表示がされている。これにより、食用クレヨン12の使い勝手がさらに良くなっている。また、このチューブ容器14の直径は1.5cmである。このように比較的握りやすい太さのチューブであるので、食用有色素材11を指先で絞り出しながら文字などを書く際に、この内容物を絞り出しやすい。なお、ふりかけ用の食用クレヨン12の場合には、注出口14cを片方の端部に1つだけ形成した方が好ましい(図3(b)参照)。この際、注出口14cの形状は楕円形が好ましい。長さも7~8mmくらいが詰まりにくい。

【0019】チューブ容器14の両端部には、注出口14a、14bを密閉する半円形のキャップ15が着脱可能に取り付けられている。各キャップ15はそれぞれねじ込み式である。このため、各注出口14a、14bをしっかりと密閉することができる。また、図4に示すように、各食用クレヨン12に充填された食用有色素材11の種類は、12種類(8色)である。具体的には、黒ごま(黒色)、海苔(黒色)、ソース(茶色)、ケチャップ(赤色)、梅肉(赤色)、色紅ペースト(桃色)、蛙ペースト(桃色)、人参ペースト(オレンジ色)、黄ピーマンペースト(黄色)、のりたま(黄色)、ホーレン草・ブロッコリー・ピーマンの混練ペースト(緑色)、マヨネーズ(白色)が採用されている。

【0020】図1に戻って、プラスチックバッグ(包装体)13は、前面ホック式の手さげバッグである。その前面にある蓋13aの上部に、収納された食用クレヨン12を覗ける横長の覗き窓13bが形成されている。なお、この窓13bからは、食用有色素材11の原料名と色名とを覗き見ることができる。これにより、使おうとする好みの色または原料の食用クレヨン12があるかどうかを、蓋13aを開けなくても確認することができる。ただし、この覗き窓13bは、例えば図4に示すような別の形態のプラスチックバッグ13Aのように、必ずしも必要ではない。なお、この例では、蓋13aの裏面に、各食用クレヨン12の総本数と、それぞれの配色の位置を分かりやすくするために、所定位置にその表示内容が印刷されている。また、このプラスチックバッグ13Aの中に、食材に適した色や文字、絵などが記載された小冊子を入れておけばさらに好ましい。図5にその小冊子の内容の記載例を示す。

【0021】次に、この発明の食用クレヨンおよび食用クレヨンセットの使用方を説明する。プラスチックバ

ッグ13の蓋13aを開き、バッグ内から好みの色の食用クレヨン12を取り出す。そして、太線用または細線用のキャップ15を外して、チューブ容器14をちょうどペンのように握る。続いて、チューブ容器14の胴部を指で押しながら、チューブ内に充填された食用有色素材11を、注出口14aまたは14bより押し出しながら、おにぎりの表面などに、好みの文字や絵などを描く。この際、食用有色素材11が流動性を有するペースト状、または、ふりかけのような粉粒体であるので、例えば従来の食用クレヨンのように、リンゴやナシなどの比較的に硬い食品だけでなく、お弁当のおかず、おにぎりやオムレツなどの比較的柔らかくて、かたしが崩れやすい食品の表面にも、所望の文字や絵などを簡単にかつ綺麗に描くことができる。

【0022】また、細線用の注出口14aを使えば、小さな食品にも、従来の食用クレヨンでは描きにくかった細かな部分まで描くことができる。そして、従来の、平らな卵やきや板のりなどをカットして顔などを描く方法もあったが、この食用クレヨンを用いれば、そのような作業に要する手間をはぶくことができる。さらに、この食用クレヨンが使いやすいことから、例えば幼児、小・中・高校生そして大人まで、幅広い年齢層で使うことができる。特に、幼児の場合には、お絵かき感覚で使うことができる。また、小・中・高校生は、他のクラスメイトのものと見比べられることから、お弁当の出来ばえを気にする年頃である。そこで、この細線用の注出口14aを使うことで、細部まで手の込んだカラフルな絵などを、比較的短時間のうちに描くことができる。

【0023】また、このように原料や色相が異なる12本の食用クレヨン12を1つのプラスチックバッグ13に収納するようにしたので、店頭での商品陳列時に、比較的狭いスペースに、必要な個数分だけの食用クレヨンセット10を並べることができる。しかも、この食品クレヨン12はセット売りであるので、単体で販売する場合に比較して、1つの商品単価を高くすることができる。一方、購入した主婦などの側から言えば、多数色の食用クレヨン12を1つのプラスチックバッグ13としてまとめ買いができるので、色の違う食用クレヨン12を一度に揃えたい場合や、色選びなどのときに有利である。すなわち、プラスチックバッグ13に収められた12本の食用クレヨン12の中から、好みの色の食用クレヨン12を任意に選択することができる。その結果、自分のイメージ通りもしくはそれに極めて近い文字やデザインを、簡単に表現することができる。さらに、食用クレヨン12を保管する場合も、このように各食用クレヨン12が、1つのプラスチックバッグ13に収められているので、保管がしやすいとともに、個々の食用クレヨン12を粉失しにくい。

【0024】さらにまた、チューブ容器14をペンタイプとしたので、文字や絵を描く際に、チューブ容器14

が手になじみやすく、使い勝手がよい。次に、例えば一方の注出口14aから食用有色素材11を押し出す際、チューブ容器14の他方の端部の注出口14bは必ずキャップ15により密閉されるので、押し出しの際の内圧により、他方の注出口14bから食用有色素材11が押し出されるおそれがない。しかも、各注出口14a、14bの口径が、互いに異なるように設計したので、異なる太さの線を簡単に引くことができる。

【0025】次に、図6および図7に基づいて、この発明の第2実施例に係る食用クレヨンおよび食用クレヨンセットを説明する。図6は、この発明の第2実施例に係る食用クレヨンセットに使用される食用クレヨンの拡大正面図である。図7は、図6のS7-S7拡大断面図である。図6および図7に示すように、この第2実施例に係る食用クレヨンセットは、食用クレヨン20のチューブ容器14Aの胴部に、チューブ軸線方向に延びた比較的厚肉で硬いチューブ芯部30を、チューブ容器14Aの可撓性の部分と一体成形した例である。具体的には、チューブ容器14Aの胴部を均等に2つに縦割りしたチューブ芯部30を配置した例である。すなわち、このチューブ芯部30は、断面形状が半円形状をした槌状の部材である。このチューブ芯部30の素材は、チューブ容器14Aの他の部分と同じ、ポリエチレン製である。

【0026】したがって、食用クレヨン20に充填された食用有色素材11を絞り出す際には、チューブ容器14Aの形状が崩れにくくなる。これにより、使用中、チューブ容器14Aは一定の容器形状が確保され、よって食用クレヨン20の握り心地が向上し、かつクレヨン全体の外観も良好になる。なお、この食用有色素材11を絞り出す際には、親指の腹で、チューブ容器14Aの軟らかい部分をチューブ芯部30側へ押さえ付け、その後、この親指を、槌状をしたチューブ芯部30に沿って、注出側の注出口14aまたは14b側へ移動させる。その結果、第1実施例のタイプのものより、食用有色素材11の絞り出しが円滑になる。なお、チューブ芯部30は比較的硬めではあるが可撓性を有している。よって、仮にチューブ容器14Aの全体が変形した場合でも、このチューブ芯部30の弾性力により、比較的短時間で、自動的に元のチューブ容器14Aの形状に復元する。図6において、15Aは、チューブ容器14Aの先細りした先端部の形状と同じ外観形状のキャップである。その他の構成、作用および効果は、第1実施例と同様であるので説明を省略する。

【0027】

【発明の効果】請求項1または請求項2の発明によれば、開口可能な注出口が形成された可撓性を有するチューブ容器内に、流動性を有する食用有色素材を充填しているので、比較的形状が安定した崩れにくい食品だけでなく、比較的柔らかくて崩れやすい食品にも、所望の文字や絵などを描くことができる。

【0028】特に、請求項2に記載の食用クレヨンセットによれば、上記効果の他に、互いに色相が異なる食用有色素材が充填された複数本の食用クレヨンをつつの包装体に収納させるようにしたので、店頭での陳列がしやすく、かつ陳列面積に対する売り上げ高が比較的大きくて流通性の向上が図れ、しかも複数の色相の食用クレヨンの中から好みの色を任意に選択して使用することができ、さらに個々の食用クレヨンを紛失しにくいという効果を有する。

【0029】また、請求項3に記載の食用クレヨンまたは食用クレヨンセットによれば、請求項1または請求項2の効果に加えて、チューブ容器をペンタイプとし、かつこのチューブ容器の両端部に互いに口径が異なる注出口をそれぞれ形成し、さらに各注出口をキャップにより密閉自在としたので、使いやすくて、異なる太さの線を引くことができる。

【0030】さらに、請求項4に記載の食用クレヨンまたは食用クレヨンセットによれば、請求項1～請求項3のうち、何れか1項に記載の食用クレヨンおよび食用クレヨンセットの効果に加えて、使用中の一定の容器形状を確保することができ、これにより食用クレヨンの握り心地が良くなり、しかもクレヨン全体の外観も良好になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の第1実施例に係る食用クレヨンセットの正面図である。

【図2】この発明の第1実施例に係る食用クレヨンの分解拡大正面図である。

【図3】(a)は、注出口が2つの食用クレヨンの正面図である。(b)は、注出口が1つの食用クレヨンの正面図である。

【図4】他の形態のプラスチックバッグの開蓋状態を示す正面図である。

【図5】食材に適した色や文字、絵などが記載された小冊子の記載例を示す説明図である。

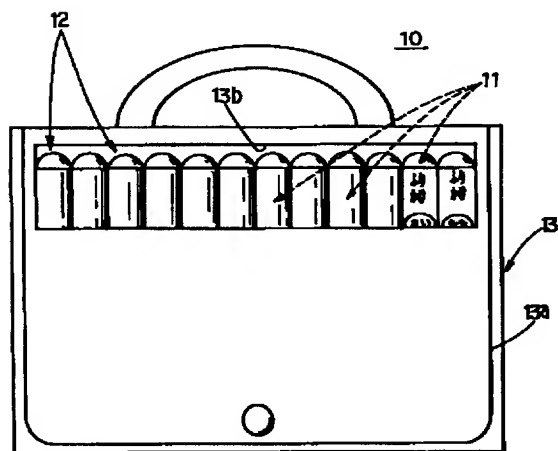
【図6】この発明の第2実施例に係る食用クレヨンセットに使用される食用クレヨンの拡大正面図である。

【図7】図6のS7-S7の拡大断面図である。

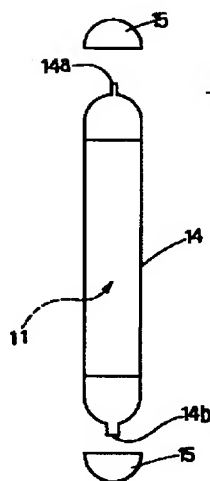
【符号の説明】

- 10 食用クレヨンセット、
- 11 食用有色素材、
- 12, 20 食用クレヨン、
- 13, 13A プラスチックバッグ(包装体)、
- 14, 14A チューブ容器、
- 14a, 14b, 14c 注出口、
- 15, 15A キャップ、
- 30 チューブ芯部。

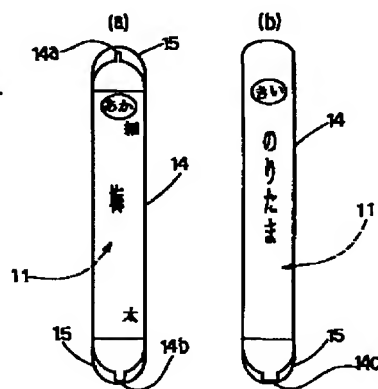
【図1】



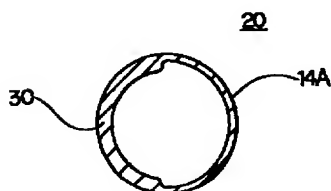
【図2】



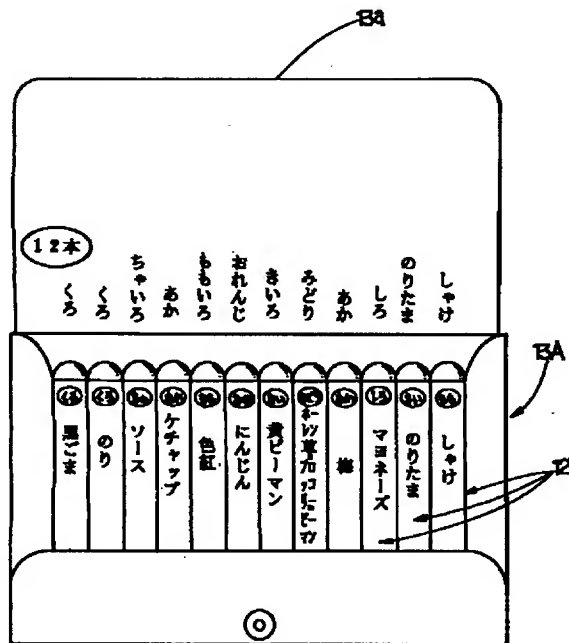
【図3】



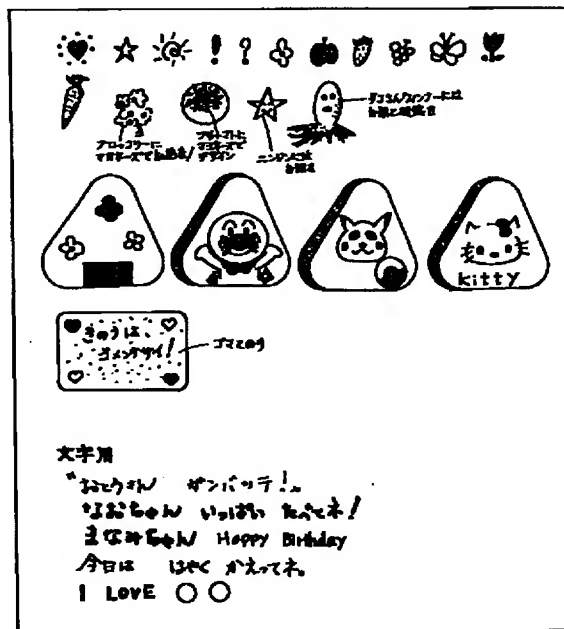
【図7】



【図4】



【図5】



【図6】

